



# だいすきいっぱい チーム愛宕

愛宕小教職員用のデザインの入ったポロシャツとTシャツが完成しました。本校教員がデザインを考えました。これを着て、明後日の球技大会に臨みます。教職員も心を一つにして、チーム愛宕でいきます。



9月26日（月）、選手激励会が行われました。企画・運営は5年生で、この日のために応援団を結成し、休み時間を使いながら練習を重ねてきました。今日は大きな声で、気持ちを込めた応援ができました。その勢いによって全校児童も一緒にエールをおくることができました。私から選手へ激励の言葉をおくりました。大きく二点。

「①マナーで一位になること。挨拶や整理整頓など感謝の気持ちをもって臨んでほしい。②プレー中、うまくいかないときこそ、仲間と声を掛け合って壁を乗り越えてほしい。うまくいっているときは声が出やすいが、苦しい時に辛い顔をしたり、うまくできないことを人のせいや審判のせいにしたりしない。」最後に全校児童へ、「明後日、女子は8時半、男子は2時半ごろから試合が始まります。試合会場には行けないが、離れていても心の中で応援してほしい」と伝えました。当日は、ベストコンディションで。そして、仲間を信じてチーム愛宕の力を発揮することを願っています。「試合は練習のつもりで。練習は試合のつもりで」です。



9月20日（火）から10月14日（金）の4週間、教育実習生が1名本校に来ています。主に1年生に入っています。実習生が児童とかかわっている姿を見るととても微笑ましく、児童の声にしっかり耳を傾けることができます。私は昔、教育実習として六ツ美中学校へ行きました。当時のことを振り返ると反省ばかりでした。



今、挨拶を全校で呼びかけています。右のようなシートを各学級に配付しています。「こんにちは」「さわやかな挨拶だよ」等、児童の声が聞こえてきます。廊下ですれ違う担任の先生以外の先生にも「こんにちは」と挨拶ができるのが素晴らしいです。誰にでも、そして自分からです。これは人として最低限必要なことで基礎です。継続して意識付けをしていきたいと考えています。

